

# 品川区浸水ハザードマップ

(浸水予想図 分割版A: 北東部)

品川区浸水ハザードマップには、浸水予想図・浸水実績図・浸水予想&実績図の3種類があります。

この浸水予想図は、大雨による河川の増水や下水道処理能力を超える流入により、水があふれた場合の城南区域図(平成16年5月東京都作成)に基づき、浸水する範囲やその程度、避難所を示し、区民の皆様への避難などに役立つよう作成したものです。

想定している大雨の規模は、平成12年9月に発生した東海豪雨(総雨量589mm・時間最大雨量114mm)の降雨実績を基にしています。水害の予想される区域やその程度は、雨の降り方や土地の形態の変化、河川・下水道の整備状況によって変わることがあります。したがって、大雨が降ると、常にこの地図のような浸水があるというものではありませんし、この地図表示以外でも、状況によっては浸水することもありますので、十分に注意してください。

大雨の際には、区から避難勧告や避難指示がでる場合もありますので、各種の情報には十分注意を払いましょう。いざというときに備えて、避難所などを確認しておきましょう。

## 図面の見方のポイント

一般的に河川沿いは低地であるため、浸水したときの水深が大きくなり注意が必要です。また、河川から離れていても、青・水色・緑色で示される場所では、地盤が低いために、浸水したときの水深が大きくなるので注意して下さい。

なお、表示は一边が50メートルのメッシュ(区画)単位になっており、水深はメッシュ内において最大の水深となる地点のデータで表示しています。

平成18年3月 品川区

